

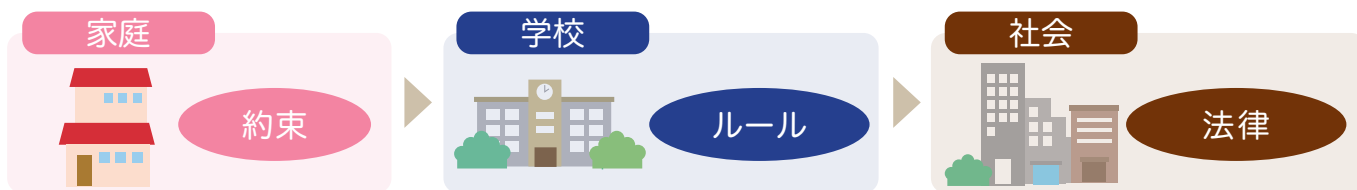
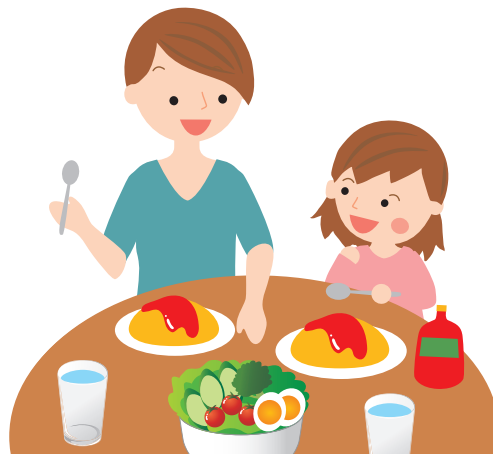
4 社会性・コミュニケーション能力をはぐくむ



学校のきまり（規則）を守っていると答えた子どもは、得点（平均正答率）が高い傾向にあります（くわしくは下のグラフのとおり）。

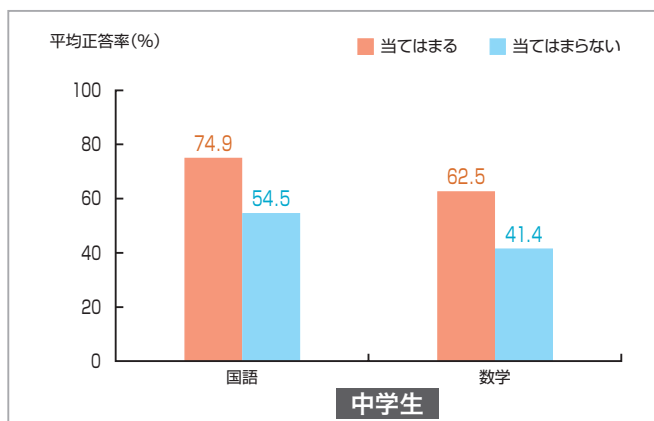
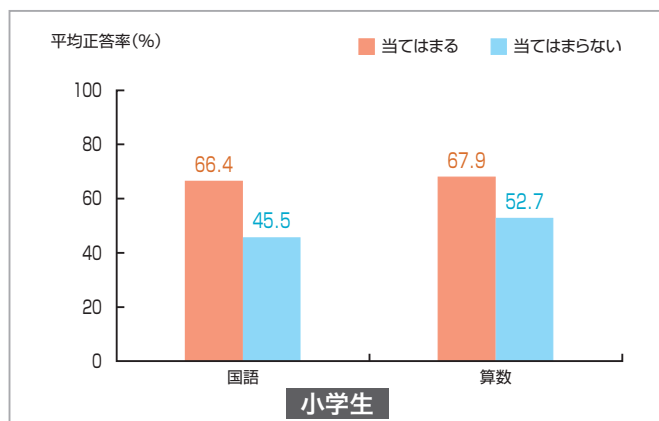
あいさつは、コミュニケーションや信頼関係をつくる第一歩です。まずは家庭の中から「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」などの“ひと声”を心がけていきましょう。子どもにとって家庭での会話は、安心感や信頼感を得て、社会で生きるための価値観をはぐくんでいきます。**食事の際はテレビを消して“会話をする時間”にあてるなど、積極的に時間をつくっていくことが大切です。**

また、集団生活の場には、必ず守らなければならない決まりごとがあります。大人になってから困らないように、小学生のうちから、自立・自律の準備をはじめましょう。子どもはさまざまな体験の中から想像力をはぐくみ、人の痛みや優しさを理解するようになります。なかでも家事の役割分担は、いちばん身近な体験の場。食事の片付けや、部屋の掃除、洗濯物干し、犬の散歩などの手伝いを続けるうちに、生きていくための知恵や人の役に立つ喜びなどを学びます。



お手伝いや、門限時刻、おこづかいの使いかた、ゲームの時間など、生活のなかの決まりごとを子どもと一緒につくっていきこう。約束や決まりを守らなかったり、人に迷わくをかけたときは、きちんとしかることも大切だよ。

学校のきまり（規則）を守っていますか



「平成31年度全国学力・学習状況調査」より

5 保護者の学校や地域への参加



学校行事によく参加している保護者の子どもは、得点（平均正答率）が高い傾向にあります（くわしくは下のグラフのとおり）。

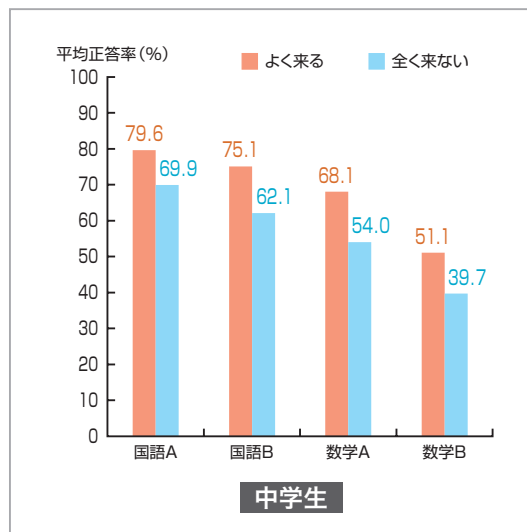
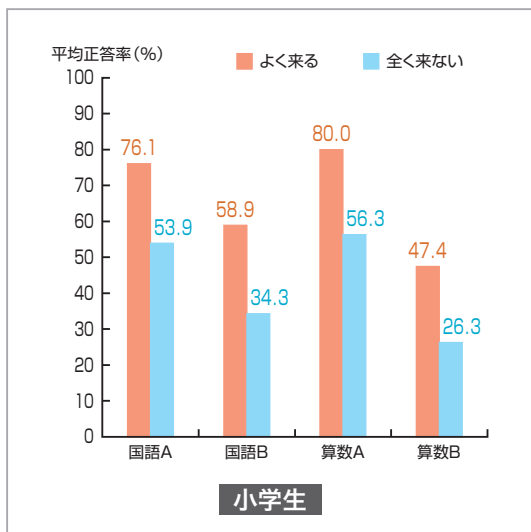
近年、保護者の学校や地域とのつながりが、子どもの学力に一定の影響を与えていることがわかってきました。具体的には、授業参観や運動会などの学校行事へ出席することや、地域のお祭りやボランティア活動などに子どもと一緒に参加することなどです。学校や地域には、教育のプロ（先生）や子育ての先輩（保護者）がたくさんいます。信頼を築いていくためにも積極的に参加していきましょう。

ちなみに、毎年、全国学力・学習状況調査でトップクラスの秋田県や福井県は、保護者と学校とのつながりが、とても濃いことで有名です。お互いに信頼しあっていると、子どもたちの学力も伸びるということかもしれません。

学校の教育目標や運営の計画、行事、学校協議会の開催情報などは、各学校のホームページでチェックできるよ。まずは、学校がいま何に取り組んでいるかを知ることからはじめよう！

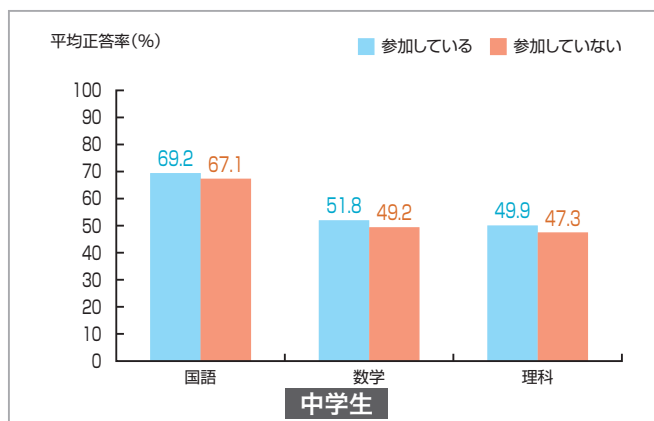
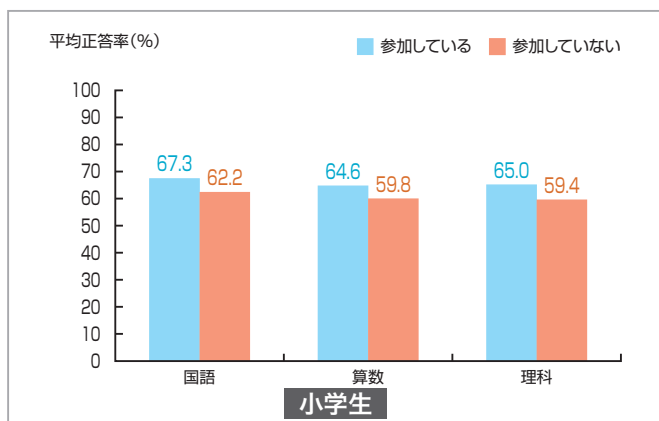


家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」より

今住んでいる地域の行事に参加していますか



「令和 4 年度全国学力・学習状況調査」より